

氏 名	しゅう たん 周 丹		専 攻	社会学専攻
			指導教授	島村 恭則
研究領域	民俗学、現代民俗学			
研究題目	マレビト論の再帰的再構築：中国・東南海島嶼地域をフィールドとして			
所属学会	日本民俗学会、中国民俗学会			
学 歴 (学部入学から)	2011年9月	安徽農業大学	国文学学科	入学
	2015年6月	安徽農業大学	国文学学科	卒業
	2015年9月	上海大学	文学研究科	入学
	2018年7月	上海大学	文学研究科	卒業
	2022年4月	関西学院大学	社会学研究科	入学
教 歴 担当授業科目	2022年4月～ 関西学院大学社会学部 教学補佐			
研 究 業 績				
著書、論文、翻訳、研究報告等題名	発 表 年 月	掲載誌または発表場所		備 考
【論文】 現代淮河地区における花鼓灯民間 芸能の発展のジレンマ	2014	『蚌埠学院学報』15		査読あり、原文 中国語
利用される財神と疎外された住民- 天龍堡を例に	2019	『地方文化研究』37		査読あり、原文 中国語
禹王に関する考古学的発見とその 資源の転換—史跡公園を例に	2019	『山西大学学报』90		CSSCI、黄景春 との共著、査読 あり、原文中国 語
COVID-19をめぐる<権威メディア >と<隠された声>：現代民俗学 の視点から	2020	『関西学院大学社会学紀要』 139		単著、査読あり
【著書】 子どもたちへの民俗学：石敢當	2021	黒龍江少年兒童出版社		黄景春との共 著、原文中国語
【翻訳実績】 震災後における民俗の活用と被災 地の現在：南三陸町戸倉波伝谷地区 の場合	2019	『民間文化論壇』258		単訳、政岡伸洋 原著、査読あり
伝承の命運：「来訪神」の文化遺産 化をめぐって	2020	『遺産』2		単訳、島村恭則 原著、査読あり
生活史を語ることの困難：あるハン	2020	『遺産』3		単訳、蘭由岐子

セン病者の語りから			原著、査読あり
災害エスノグラフィーから災害エスノロジーへ	2021	『遺産』4	単訳、林春男、重川希志依原著、査読あり
ヘルマン・パウジンガーと日本民俗学	2022	『遺産』6	単訳、島村恭則原著、査読あり
【口頭発表】 清代廖燕の交際についての考証	2016	東アジアの再構築：国際青年学者論壇，台中	単独発表、査読あり
沈萬三と聚宝盆：ストーリー構造分析	2017	都市化と文化多様性学術会議，上海	単独発表、査読あり
記憶の場所：遺跡公園の博物館について	2019	淮河流域古代文明研究会議，蚌埠	単独発表、査読あり
What Should We Focus on When We Gaze at the Center of the Vortex?: Reflections Based on the Oral History of COVID-19 Frontline Medical Personnel in Wuhan	2022	The 13th Annual CUHK Anthropology Postgraduate Forum, ホンコン	単独発表、査読あり
Effective Categorization : "Fear" of "Medical Personnel" at the Centre of the Covid-19 Vortex	2022	イギリス民俗学会，ロンドン	単独発表、査読あり
【競争的資金等の獲得】 現代淮河地区花鼓灯民間芸術の発展ジレンマ	2013～ 2015	安徽省政府主催の「大学生研究プロジェクト」	単独研究、省の評価機関によって「優秀」の評価を得た
中国の民間宗教における葬儀文書についての研究	2015～ 2016	中国教育部	黄景春との共同研究
【受賞】 中国国家修士奨学金	2016～ 2017	中国教育部	